

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名：放課後等デイサービス にじいろホース

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・ 牧場が主な活動場所なので、十分なスペースが有る。	
	2 職員の配置数は適切である	○		・ 利用児童の人数に合わせて、配置人員を確保している。	・ 配置数は適切だが、集団活動中に個で動く児童がいるので、見守りが不足することもあり、少し余裕のある人員体制に努めていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・ スロープがあり、今まで困ることはない。	・ 今後も、必要な環境整備を行っていく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・ 定期的にミーティングを行っているが、個別支援についてスタッフ間で目標を立てている。	・ 話し合う時間が足りないことがあるため、業務内容の見直しや効率化を進め、十分な時間が確保できるように努めていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・ ミーティングにて改善していく内容を話し合っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ ホームページで公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・ 現在は行っていないが、検討している。	・ 外部の事業所、相談支援員等の協力を得て、実施に向け引き続き検討を行う。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・ 研修の案内があった際には、職員に参加を促している。	・ 今後も引き続き研修等には積極的に参加させていく
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・ スタッフ間で情報を共有し、支援の統一を図っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・ アセスメントシートを作成し、共有している。	・ アセスメントシートを活用し、引き続き共通理解を深めていく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・ 十分な話し合い(時間)が取れない場合は、LINE等で共有している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・ イベントやお出かけを定期的に開催している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・ きめ細やかとはいかないが、一人ひとりの課題に対して活動を展開している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		・ ご希望に沿って利用形態を考え対応している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・ その日のスタッフでルール確認等を行えるよう打ち合わせをしている。 ・ LINEの活用で情報共有を図っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・ 送迎後に状況を話し合ったり、LINEで共有・報告を行っている。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・ 計画書をもとに記録し、支援につなげている。	・ 記録内容を支援目標に照らしながら、記載するように心がけていく。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	・定期的にモニタリングを行い、計画の見直し等判断している。モニタリングの際には、スタッフの意見等を聞いて見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○	・事業所の強みと合わせて活動を展開している。	・ガイドラインについての研修や共通理解を深めていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	・担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○	・下校時間は毎回保護者から連絡してもらっている ・保護者に教えてもらうことはあるが、学校からの連絡はほとんどない。 ・送迎時に会うことのできる先生とは情報共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	・医療が必要な児童は通所していないが、利用児が出てきた場合には検討していく	・医療的ケアが必要な子どもの利用が見込まれる際は、必要な体制を整備する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	・契約時・担当者会議で情報を共有している。 ・申し送り表を頂いている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	・担当者会議にて申し送っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	・会議、研修の連絡があった際には必ず参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	・清武児童文化センターで会う児童と交流したり、一緒に遊んでいる。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○	・都合に応じて参加している。	・地域の行事への参加をさらに進めていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	・送迎時、TEL、LINE等で情報共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	・児童に対しての成功例等をアドバイスとして伝えている。	・関連知識の向上を図り(研修受講など)、保護者への支援を行っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	・契約時や質問があった際に、分かりやすく伝えている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	・ご相談を受け、必要に応じてお話しさせてもらっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	・ご家族支援日(土・日)に集まれるイベントを開催し、連携や話し合う場を設けている。 ・昨年、フリーマーケットを行った際に、保護者会を開催した。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	・ご家族の意見に対しては、受容し誠実に対応している。窓口も設けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	・月の予定表1ヶ月前にイベントやお知らせを案内している。	・今後、さらに内容を充実させていく。

	35	個人情報に十分注意している	○		・保管や取扱に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・分かりやすくを一番に、丁寧にお伝えしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・地域の人が見学に来ている。 ・見学希望者は積極的に受け入れている。	・今後も地域住民の見学等積極的に受け入れていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・保護者に対しては、特別な周知はしていないが、マニュアルの訓練などの情報を発信している。	・各種マニュアル等の作成・整備の充実を図る。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・訓練は定期的実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・委員会や窓口を設け、また研修もやっている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・拘束の必要な児童はいないが、今後必要になれば対応していく。	・現在は、身体拘束の必要な子どもはいないが、必要な状況が生じた場合には、適切な対応(スタッフによる協議、保護者への説明、児童発達支援計画に記載等)を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・ご家族の協力のもと、気を付けることをスタッフで共有している。	・契約時にアレルギー等を把握し、必要に応じた対応を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・インシデント、アクシデントの報告書を作成し、共有している	・事業所メンバーから情報収集を行い、事例集を作成し注意喚起を行う。